

事業コード	H27-農-継-03		区 分	国庫補助	県単独
事業名	経営体育成基盤整備事業		部局課室名	農林水産部 農地整備課	
事業種別	ほ場整備		班 名	農地整備班 (tel) 018-860-1824	
路線名等	上井河		担当課長名	瀧川 拓哉	
箇所名	南秋田郡井川町		担当者名	阿部 喜孝	
総合計画との関連	政策コード	02	政 策 名	国内外に打って出る攻めの農林水産戦略	
	施策コード	02	施 策 名	秋田米を中心とした水田フル活用の推進	
	指標コード	02	施策目標(指標)名	生産性の向上による高収益農業の実現に向けた基盤整備の推進	

1. 事業の概要

事業期間	H22 ~ H28 (7年)	総事業費	9.9億円	国庫補助率	55	
事業規模	区画整理工 A = 47.4ha					
事業の立案に至る背景	<p>本地区は水田単作であり、転作作物は地区全体で僅かで、米価の低迷が続く現在、農業収入が減少している。また、生産組合を組織しているが、60歳以上の農業従事者が55%を占め、高齢化が進み、担い手不足も危惧されており、これら状況を打破することが急務である。</p> <p>米+野菜の複合経営を目指すも、地下水位が高く野菜作りに向かない基盤のため、水田単作を余儀なくされている。</p> <p>小区画のため営農機械での作業効率が悪く、また、農道が狭小で作物・資材の運搬に支障を来し、現況水路も用排兼用の土水路で水管理に苦慮しており、維持管理に多大な労力を費やしている。</p>					
事業目的	<p>ほ場の大区画化、用排水路の完全分離を図り、農道や暗渠を効率的に配置するなど一体的に整備して農地の汎用化を図るとともに、営農上の労力低減により作業効率軽減を図る。</p> <p>大区画に整理された汎用化農地で、地域に即した作物導入(枝豆、トマト、キャベツ等)により複合経営を実現し、高生産性・低コスト農業の確立を図る。</p> <p>農地を集積し、農業機械の過剰投資抑制、大規模なブロックローテーション、低コスト化を図る。</p>					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)		計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等	
	事業費	860,000	989,000	129,000	幹線排水路法面保護の増	
	経費 内訳	工事費	674,000	753,300	79,300	幹線排水路法面保護の増
		用補費	24,000	15,700	-8,300	
		その他	162,000	220,000	58,000	
	財源 内訳	国庫補助	473,000	544,000	71,000	
		県 債	172,000	216,000	44,000	
その他		150,500	167,000	16,500		
	一般財源	64,500	62,000	-2,500		
事業内容	区画47.4ha 暗渠47.4ha 詳細設計等	区画47.4ha 暗渠47.4ha 詳細設計等				
事業の進捗状況	平成23年度から面工事を実施し、一部除外地を除き平成25年度に完了。暗渠排水は平成27年度までに完了し、平成28年度に換地処分を行い完了する予定である。					
事業推進上の課題	平成26年度に創設された農地中間管理事業と連携し、更なる農地の利用集積を図りながら、余剰労働力を活用した複合経営の導入を積極的に推進する。					
関連する計画等	「第2期ふるさと秋田元気創造プラン」(産地づくりと一体となったほ場整備の推進)及び「第2期ふるさと秋田農林水産ビジョン」(産地づくりと一体となったほ場整備の推進)					
情勢の変化及び長期継続の理由	農政改革の影響等により、米偏重経営からの脱却と複合経営の推進が急務となっている。本事業を継続的に推進することにより整備された汎用農地が担い手に集積され、新たな農業経営を可能とするため、重点的に事業を推進する。					
事業効率把握の手法及び効果	指 標 名	評価箇所における担い手等への農地集積率				
	指 標 式	地区内の担い手等の経営面積÷ほ場整備地区面積				
	指 標 の 種 類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無	
	目 標 値 a	74 %		データ等の出典	a=促進計画書	
	実績値 b	29 %			b=達成状況報告書	
達成率 b/a	39.2 %		把握の時期	平成27年3月		

前回評価結果等	選定または継続 改善 見直し 保留または中止
	指摘事項
	指摘事項への対応

2. 所管課の自己評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	地域農業の構造改革を推進するために、ほ場整備を契機とした農地の流動化、担い手の確保・育成の必要性が一段と高まっている。また、区画及び農道が狭小で地下水位も高く、転作作物の導入が困難な状況であるため、水稻に偏重した農業経営から脱却できない状況である。これらの問題解決や担い手の確保・育成を進めるためにも、ほ場整備事業が最も妥当な事業である。	5点
緊 急 性	農業従事者の高齢化や担い手不足が急速に進展する中、中核的担い手の確保・育成など、地域農業の体質強化が強く望まれている。また、水田の畑地利用による大豆などの産地づくりといった新たな水田農業の展開も求められている。	8点
有 効 性	担い手の地区内経営面積は事業実施前より増加(6.7ha 13.7ha)し、目標値の39%となっている。また、個人担い手4人へ農地を集積し、水稻のほか大豆に取り組むなど、ほ場整備事業の有効性が発揮されている。本事業は、「第2期ふるさと秋田元気創造プラン」における「秋田米を中心とした水田フル活用の推進」を支える取組として位置づけられている。	35点
効 率 性	事業の費用便益費は1.54であり、効率性は高い。総費用の現在価値964百万円、総便益の現在価値1,486百万円。再生骨材の使用によりコスト縮減に努めている。	8点
熟 度	事業関係者のほとんどから事業内容について同意を得ている(同意率96%)。受益者、土地改良区、井川町が一体となって進められており、事業推進体制に問題は無い。環境への配慮として、濁水流出防止や騒音・抑制機械の使用に取り組むとともに、リサイクル製品の利用に努めている。	28点
判 定	ランク () 事業判定ランク となっており、早期の事業完了に向けて継続すべきと考える。	84点
総 合 評 価	継続 改善して継続 見直し 中止 各観点の評価結果から、事業実施箇所としての優先度が高く、完了に向けて継続することが妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

担い手等への農地集積及び複合経営のための汎用農地の整備を引き続き進めるとともに、工事の実施にあたっては一層のコスト縮減に努める。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 ほ場整備事業

事業コード (H27-農-継-03)
箇所名 (南秋田郡井川町)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	事業の必要性					
	社会経済情勢変化による需要変化	増大している 特に変化はない 低下している	5 3 0	5		
	計		5	5		
	緊急性	農業施策との関連性				
緊急性	農地汎用化の推進状況	十分に取り組んでいる 部分的に取り組んでいる 一部しか取り組んでいない	5 3 1	5		
	他事業との関連	他事業との関連	関連する他事業との調整で緊急性が高い 他事業はないが、単独で十分な効果がある	5 3	3	
	計		10	8		
	有効性	当初計画の具体的効果発現(地区内)				
有効性	高度経営体の育成数	80%以上 50%以上80%未満 50%未満	10 5 1	10		
	担い手への農地集積率	60%以上 20%以上60%未満 20%未満	10 5 1	5		
	担い手への農地集積増加率	実施前より30%以上増加 実施前より30%未満増加 実施前より増加無し	5 3 1	5		
	大区画率	1ha以上が50%以上(中山間は標準区画30a以上) 1ha以上が35%以上50%未満(中山間は標準区画30a以上) 1ha以上が25%以上35%未満(中山間は標準区画30a以上)	5 3 1	5		
	上位計画への貢献度	ふるさと秋田元気創造プランでの位置付	戦略を支える取組として貢献度が高い 戦略を支える取組に間接的に貢献する 戦略を支える取組への貢献度は低い事業である	10 5 1	10	
	計		40	35		
	効率性	事業の投資効果				
	効率性	費用対効果	B/C = 1.0以上 B/C = 1.0未満	5 0	5	
		事業実施コストの縮減				
		対策内容	効果が発現している 実施している 検討中である	5 3 1	3	
		計		10	8	
	熟度	事業の推進				
熟度	事業の同意状況	全員の同意が得られている 若干の未同意者がいるが事業実施に支障はない 未同意者がいるため事業実施に支障がある	5 3 0	3		
	事業の推進体制	事業推進体制が整備されておらず、事業実施に支障がある 事業推進体制が整備されている	0 5	5		
	前年度までの進捗比	計画より進捗している 概ね計画どおり(90%以上) 計画より遅れている(90%未満)	10 5 1	10		
	他官庁との協議調整	協議・調整済みで事業推進に影響はない 協議・調整中であるが事業推進に影響はない 協議・調整中で事業推進に影響する	5 3 0	5		
	環境との調和への配慮状況					
	環境保全への配慮	十分に配慮している 配慮している 配慮が不十分である	10 5 0	5		
	計		35	28		
	合計			100	84	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上～80点未満		
	優先度が低い	60点未満		